

■ 観天望記（編集委員会から） その1

編集委員長 石垣（20期）

お知らせ

【 YW60周年記念特集「YWとの関わり」の原稿募集 】

編集委員会ではYW創部60周年記念特集としてOB会員の皆様とYWとの関わりの原稿を募集しています。「私のワンダリング史」、「私とYW」、「YWと歩んだ〇〇年」などタイトルは自由です。今年12月発行の会報に掲載予定で、募集要項は以下の通りです。OB会員の皆様、ご投稿をお待ちしております。

＜記念特集原稿 募集要項＞

タイトル： 自由（YWとの関わりの内容）

原稿量： ワードでA4 1~2枚程度

（写真・絵なども併せてお送り下さい）

投稿締切： 2017年11月17日（金）

投稿先： YW OB会 編集委員会（メールアドレス kaiho-ywob@ywvob.com）



写真：青山氏(20)のFacebookから借用

【 自由投稿 】

OB会報は年3回発行していますので、自由投稿は常時募集しています。また、ご意見、ご質問などもいつでもお送り下さい。宛先は全て編集委員会（メールアドレス：上述）でお願いします。

■ 観天望記（編集委員会から） その2

編集委員長 石垣（20期）

菊の節句

この会報第66号が会員の皆様のお手元に届くのは、菊の節句の頃だと思います。2013年4月発行の会報第53号には二十四節気のことを書きましたが、今回は五節句、特に「菊の節句」の話をしたいと思います。

節句は五節句と言うように5つあり、基本は奇数月で同じ数字の日です。ただし、正月は特別ですので1月だけは7日です。和名（漢名）だと、1/7は七草（人日（じんじつ））の節句、3/3は桃（上巳（じょうし））の節句、5/5は菖蒲（端午（たんご））の節句、7/7は七夕（七夕（しちせき））の節句、そして9/9が菊（重陽（ちょうよう））の節句と言います。

菊の節句以外の行事は七草粥、雛祭、鯉のぼり、七夕祭などで、良く知っていますが、菊の節句の行事は思い浮かびません。何でしょうか。調べてみると、奇数は縁起の良い陽数、



偶数は縁起の悪い陰数と考え、その奇数が連なる日をお祝いしたのが節句。その中でも一番大きな陽数「9」が重なる9月9日を、陽が重なると書いて「重陽の節句」と定め、不老長寿や繁栄を願うのだそうです。こんなに縁起の良い日に何もしないのは勿体無いので、この日に何かを試してみたいですね。

五節句を締めくくる行事として、菊の香りを移した菊酒を飲んで邪気を払い、長命を願うことをしたそうです。「これだ！」本来は菊を漬け込んで作ったそうですが、お酒に菊の花びらを浮かべるだけでも良いようです。風流ですね。季節や自然と調和・共生するワングルにピッタリの行事です。決してこじ付けでお酒を飲もうとしている訳ではありませんヨ。風流ですし、あくまで真面目に節句の行事として邪気を払うのです。それでは、9月9日は長命を願い、美味しい肴を食して菊酒の代わりに菊正宗でも飲もうかな。・・・やっぱり、「飲み」でした。(菊の節句と菊正宗は関係ありません)

♪ いつもの肴で いつもの酒 やっぱり俺は～ キクマサムネ～♪ (懐かしい西田佐知子さんの歌のCMが聞こえてきます)